

研究所 月報 2023.10

労働時間の記録と労働実態の乖離

賃金不払事案への指導

厚生労働省は「賃金不払が疑われる事業場に対する監督指導結果（令和4年）」を公表しました。これは2022年1月から2022年12月までに、全国の労働基準監督署が、賃金不払が疑われる事業場に対して実施した監督指導の結果を取りまとめたものです。

本結果の中では「監督指導による是正事例」が紹介されていますが、自社の労働時間管理の在り方を見直す際の参考となりますので、ここでは労働時間の記録と労働実態の乖離の事例を取り上げます。

過重労働による労災請求を基に、労働基準監督署が監督指導を実施。

労働時間はタイムカードにより出退勤時刻を把握し、残業時間は残業申請により把握。

聴取調査において、管理者が出退勤時刻と残業申請の時刻に乖離があっても労働者への確認が不十分なまま黙認していたとのことであったため、出退勤記録と残業申請との間の乖離の原因究明や不払となっている割増賃金を支払うよう指導。

【企業が実施した解消策】

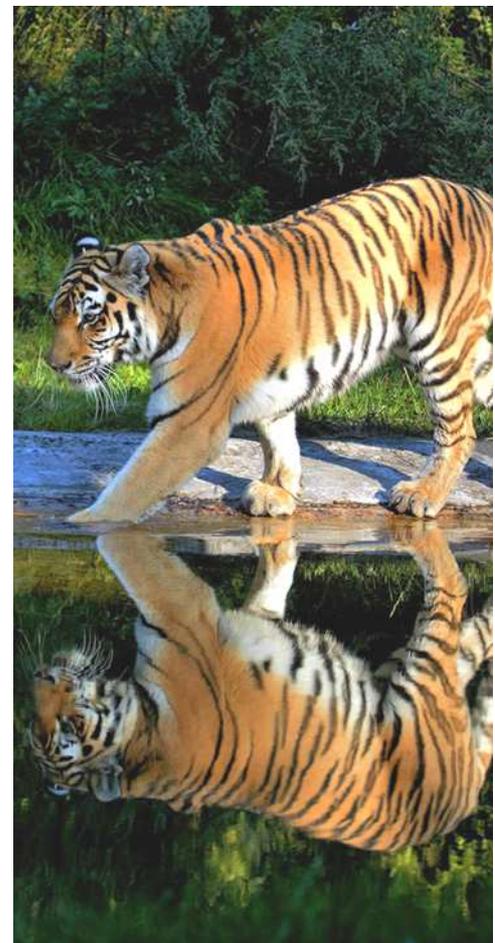
タイムカードによる出退勤記録と労働者からのヒアリングなどを基に乖離の原因や割増賃金の不払の有無について調査を行い、不払となっていた割増賃金を支払った。

また、賃金不払残業の解消のために次の取組を実施した。

日々、出退勤時刻と残業申請の時刻に乖離があった場合には、管理者及び労働者に対し通知を行い、注意喚起を行うこととした。毎月、人事担当部署において、出退勤時刻と残業申請の確認を行い、2つの記録に乖離がある場合には、労働者に乖離の理由を確認することとした。

管理者を集めた会議を開催し、部下とのコミュニケーションを促進することにより、適切な労働時間申請が行われる環境を整える必要性についての意識向上を図った。

全社員を集めた会議を開催し、労働時間管理の重要性を周知し、会社としてもワーク・ライフ・バランスを重視していることを説明し、労使一体となって適正な労働時間管理の重要性についての認識の共有を図った。



「20代のキャリア形成」に関する調査

終身雇用が当たり前ではなくなりつつある今、働き手による主体的なキャリア形成への関心が高まっています。

20代のビジネスパーソンは、「キャリア形成」をどのように捉えているのか、株式会社 学情（本社：東京都千代田区）は、20代の仕事観や働く意識をひも解くためにアンケートを実施しました。

(1) キャリアは「自身で選択したい」

キャリア形成について、「自身で選択したい」と回答した20代が31.6%に上りました。「どちらかと言えば自身で選択したい」41.8%を合わせると、7割以上の20代が「自身で選択したい」としています。

「自分の人生なので、自身で選択したい」「転職が当たり前になってきているので、自身のキャリアは自分で決めていくべきだと思う」「希望するキャリアの方向性と合致する異動を打診されると嬉しい」といった声が寄せられました。

(2) 自身の希望するキャリアプランを実現する制度がある企業は「魅力を感じる」

異動希望申請など、自身の希望するキャリアを実現する制度がある企業は「魅力を感じる」と回答した20代が53.2%に上りました。「どちらかと言えば魅力を感じる」32.0%を合わせると、8割以上の20代が「魅力を感じる」としています。

「適性を活かして働きたい」「希望するキャリアに必要な経験を積みたい」「どのような能力やスキルを身に付けるか、自身の希望も反映させたい」といった声が上がりました。

(3) 年功序列ではない人事制度を導入する企業は「魅力を感じる」

年功序列ではない人事制度を導入する企業は「魅力を感じる」と回答した20代が39.7%に上りました。「どちらかと言えば魅力を感じる」34.3%を合わせると、7割以上の20代が、年功序列ではない人事制度を導入する企業は「魅力を感じる」としています。

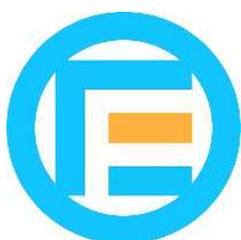
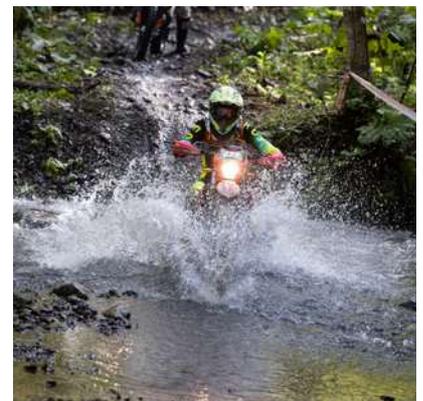
「年齢に関係なくチャレンジの機会があるのは嬉しい」「優秀な人が上司になると、より成長できると思う」といった声が上がりました。

ひらたコラム

北海道日高で開催される伝統ある大会、全日本エンデューロ選手権に参加してきました。公道を含めた135kmのロングコースを2日走ります。

エンジョイクラスとはいえ、最高峰の大会ということで、その難易度は高め。人生初、バイクで川を渡るという経験をしました。なお、渡るだけにとどまらず、川でバイクを沈めてみたり、崖から落ちかけてみたりと、あらゆる「やらない方がいいこと」をこなし、そのたびに仲間に助けてもらい、這う這うの体でギリギリ完走したことにしてもらいました。

この世にはまだまだ知らない世界がある…と、40歳にして世界がまた大きくなりました。変なやる気を出してしまった人生の折り返し地点。



発行／2023年9月30日 第137号
平研究所 代表・社会保険労務士 平田 さやか
733-0865 広島県広島市西区草津本町 9-18-201
TEL 082-530-2344 / FAX 082-553-0544
Mail info@tairaken95.com
URL http://tairaken95.com

